



ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

瀬戸小だより

令和8年5月29日

横浜市立瀬戸ヶ谷小学校

6月号



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/setogaya/>

つながろう みんな 広げよう 笑顔

校長 宮台 純子

新緑がまぶしく、夏の訪れを感じる季節になりました。暑さ指数も気になる頃となりましたが、校庭には元気な子どもたちの声が響き、いきいきと過ごす姿にうれしさを感じています。

さて、5月14日には、第1回学校運営協議会を開催いたしました。本校が目指す子ども像として、「『どうしてかな』と自分で考え、『やってみよう』と意欲をもって行動できる子ども」を育てていきたいことをお伝えするとともに、今年度より4年生の体験学習を日帰りとするこ



とや電話等での連絡を原則17時までとさせていただくことについて説明いたしました。委員の皆様からは、「子どもたちの文字がたいへん丁寧である」とのお褒めの言葉をいただきました。日々の学びの積み重ねを実感でき、教職員一同、大きな励みになりました。

また、本校のボランティア活動についても話題となりました。毎朝7か所で子どもたちの登校を見守ってくださる「守る会」の皆様、1年生を中心に子どもたちの活動に寄り添ってくださる「すくすく隊」の皆様、読書活動を支えてくださる「図書ボランティア」の皆様、そして正門の花壇を美しく整えてくださる「フラワーボランティア」の皆様に、心より感謝申し上げます。皆様の温かなご支援が、学校と家庭・地域をやさしくつなぎ、子どもたちの安心につながっています。一方で、「守る会」は、22年にわたり大切な活動を続けてくださっていますが、近年はメンバーの減少が課題となっています。保護者や地域の皆様におかれましては、日常の中で無理のない範囲で見守りにお力添えいただければ幸いです。



学校の中でも、6年生が1年生と一緒に遊ぶ姿や、ペア学年の上学年が応援しながら下学年のシャトルランの回数を数える姿など、子どもたち同士のやさしい関わりが広がっています。20日からは「なかよし活動」も始まり、学年をこえた交流が深まっています。こうした経験を通して、子どもたちは人と関わる喜びや大切さを少しずつ学んでいます。なお、タイトルの「つながろう みんな 広げよう 笑顔」は今年度の代表委員会のスローガンです。

家庭や地域の皆様のご支援と子どもたち同士の関わりによって、温かな絆が広がり、子どもたちの笑顔が生まれています。これからも子どもたちが安心して笑顔で過ごせるよう努めてまいります。今月も、保護者・地域の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。